



北海道に貢献する意欲のある若者の海外挑戦を、官民一体で応援する「ほっかいどう未来チャレンジ基金」。第1期生の海外での挑戦の様子などについて、お届けします！現在、7名が留学中！

## 学生留学コース

**坂上 涼一 さん（北海道情報大学）**  
～ICT先進国で学び 観光アプリを開発～

多様化した観光ニーズに対応する、高度なIT技術を学ぶためフィンランドへ8月から5か月間の留学中。

大学の子ども向けプログラミング教育アプリの開発コンペではチームの技術リーダーとして決勝まで進出！

また、プロジェクトマネージャーの補佐も務め、公私での交流を促進しながら、ITの世界で主流となる多国籍・多文化の中でのチームビルディングを実践的に学んでいる。



**福沢 大貴 さん（北星学園大学）**  
～アイヌ文様を発信しアイヌファッションの逆輸入を～

ファッションを通して、アイヌ文様を世界に発信し、逆輸入することを目指して、英国へ9月から5か月間の留学中。

大学で服飾ビジネスについて学ぶとともに、日本語クラスにも飛び込み、自分の夢に共感を得ることで、ロンドンの老舗仕立工房など将来に繋がる人脈の広がりも築いている。

授業参加を認めてくれたデザイナー兼教授からの助言「ここからは自分次第」を実践し続ける。



**高橋 宗一郎 さん（酪農学園大学）**  
～ワイン酵母を研究し 道産ワイン産業に貢献～

ワインの天然酵母の研究のため、イタリアトップクラスの大学研究室に9月から4か月間の留学中。

果物の樹の枝や葉、実から採取した酵母の培養、種類分析の実験に参加。紀元前からブドウが育つワイナリーを訪問し酵母も土壌や気候と同じくテロワールの一部であることを再認識。

高度な技術を学び、歴史・文化に圧倒されながら、歴史的には若い北海道でのワインづくりへの貢献を考える。



**中川 竣貴 さん（北海学園大学）**  
～ハラール食の現地調査で 道内企業と海外の架け橋に～

ハラールについて学ぶためマレーシア等3カ国へ8月から6か月間の留学中。

ハラール認証の現地調査に向け、JETROクアラルンプール事務所や北海道ASEAN事務所をヒアリングし、マレーシアの食市場や市場開拓を学ぶ。

また、国際会議でハラール産業セッションに参加し、メディア・物流・小売・イスラム金融の4つの視点からのハラール市場の現状を学ぶ。11月下旬からはインドネシアで現地調査開始。



**畠山 陸 さん（小樽商科大学）**  
～東南アジアでゲストハウスを立ち上げ 北海道との交流拠点に～

ゲストハウスの海外進出に向け、ベトナムで4か月間の企業インターン中。

ベトナム各地で市場調査を重ね、投資回収スキームを作成。本社長らの現地視察を経て、変動リスクの回避も考慮し、1都市に絞らず中部の新興2都市で並行展開することを決定。1都市では物件の仮契約まで到達。

日本人がほとんどいない地域でのビジネスや生活における貴重な経験を重ねる中で、自らの視野の広がりを実感。



## スポーツコース

**齊藤 雄大 さん**  
～先進地に学び、道内に障がい者スポーツの拠点を～

障がい者スポーツ先進国の米国で8月から1年間の研修中。

大学研修のほかに、30以上の障がい者スポーツ団体やサポート企業などが一堂に会し交流する『Adaptive sports Expo』に参加し、指導プログラムやイベント運営ノウハウなどを学ぶ。障害を持った方の参加が目立つ会場を目にし、「当事者に広めるイベントをさらに広く広めている」米国の状況を実感。この環境を北海道に持ち帰りたい！



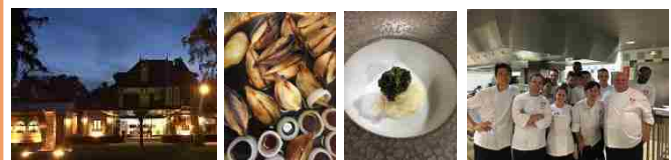
## 未来の匠コース

**古里 裕之 さん**  
～本場フランスで研鑽を積み、道産ジビエ料理に革新を～

本場フランスのレストランで7月から6か月間の研修中。

地方都市の老舗三つ星レストランでの研修を通して最も感じたのは素晴らしい食材を生み出す「環境」。そして、北海道がそれに負けない食材の宝庫であることをあらためて実感。知識、組合せ、発想力、酸の力など数多く得ることができたと実感。10月下旬からパリの二つ星店に移動。

多くの仲間感謝するとともに永遠の切磋琢磨を約束！

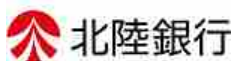
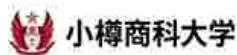
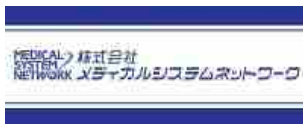
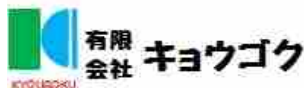


# ほっかいどう未来チャレンジ基金

## 応援パートナーの皆様

(平成29年11月現在)

◎企業の皆様 (50音順)



・その他匿名希望の企業様 1

○平成29年10月～  アイングループ

◎個人の皆様 (50音順)

・武田孝 様 (拓殖工業(株)代表取締役会長) ・船津秀樹 様 ・遠藤光二 様

古本募金による寄附を受け付けています。



応援パートナー「NORTH CREATE」様のご協力により、ご家庭や会社で不要になった本等を寄附することで、その査定額全額が基金に寄附され、若者の支援に繋がる「古本募金ハピぼん」の取組を行っています。

個人での参加はもちろん、企業単位での参加も可能ですので、ハピぼんホームページをご覧ください。基金事務局までご一報ください。

